



つどい

第 88 号

2019年9月

委員総会 会長表彰



市町村委員等研修会



もくじ

- 総会報告..... 2・3
- スキルアップ研修会..... 4
- 市町村委員等研修会..... 5
- ヘルパーの7つ道具..... 6
- 年長ヘルパーさんの活躍ぶり..... 7
- 事務局からのお知らせ..... 8



第3 ホームヘルパー研修会事業の実施

①市町村委員等研修会

平成 30 年5月 17 日（木） 県社会福祉会館
参加者 50 名（会員外2名）
・ 講義「愛知県内の詐欺被害の現状と対策について」
講師：愛知県警察本部 生活安全部 生活安全総務課
安達信生 氏

③現任研修会

平成 30 年11月 14 日（水） 県社会福祉会館
参加者 63 名（会員外13名）
・ 講義「自立支援に向けた利用者支援のあり方、ケアマネとの連携について」
・ グループワーク
講師：特定非営利活動法人ゆめじろう 小藤あけみ 氏
助言者：豊田市社会福祉協議会旭支所
ぬくもりの里ヘルパーステーション 神谷洋美 氏

⑤県内ブロック別等研修会

11 市町村で開催 523 名

②サービス提供責任者等研修会兼東海ブロック研修会

平成 30 年7月9日（月） 県社会福祉会館
参加者 77 名（会員外17名）
・ 講義「平成 30 年度介護報酬改正に伴う変更点と対策について」
・ グループ討議
講師：株式会社ねこの手 代表取締役 伊藤亜記 氏

④スキルアップ研修会

平成31年3月13日（水） 県社会福祉会館
参加者66名（会員外21名）
・ 講義「こころの病とは～うつ病と統合失調症を中心に～」
講師：社会福祉法人やまなみ会
やすらぎの家 施設長 村澤三千代 氏
・ 演習・グループ討議「困りごとをシェアしてみよう
～インシデント・プロセス法を活用しながら～」
講師：社会福祉法人新城福祉会 業務執行理事
レインボーはうす施設長 長坂 宏 氏

第4 広報事業の実施

①本会機関紙「つとい」の発行
各 400 部

第 86 号（平成 30 年9月）
第 87 号（平成 31 年3月）

②ホームヘルプ活動の普及に関する広報活動
「2016年改訂版訪問介護マニュアル」
販売 280 部

第5 関係機関・団体との連携強化

①全国ホームヘルパー協議会協議員セミナー

平成 30 年5月24日（木） 東京都

②全国ホームヘルパー協議会協議員総会

平成30年5月25日（金） 東京都

③全国ホームヘルパー協議会常任協議会 東京都

平成 30 年5月 24 日（木）・平成 30 年7月 23 日（月）

平成 30 年12月10日（月）・平成 31 年3月 25 日（月）

④全国ホームヘルパー協議会 ホームヘルプの質を高める研修会

平成30年12月10日（月）～11日（火） 東京都

第6 表彰事業の実施

多年にわたりホームヘルパー事業の推進に
尽力し、功績が顕著な会員に対し、会長表彰
状及び会長感謝状を贈呈した。

表彰者 会長表彰1名 会長感謝7名

第7 共同募金運動への協力

愛知県共同募金会提唱の「図書カード」に協力した。

協力枚数：795 枚

参考 平成 29 年度：830 枚・平成 28 年度：1,002 枚
平成 27 年度：1,044 枚

1 会の運営と組織強化

- (1) 役員会の開催
- (2) 委員総会の開催 令和元年5月20日
- (3) 研修・調査広報の各委員会の開催
- (4) 市町村委員ブロック会議の開催
令和元年5月20日
- (5) 監事会の開催 平成31年4月19日
- (6) ブロック別研修会への助成

4 広報事業

- (1) 機関紙「つとい」の発行 年2回
- (2) 訪問介護マニュアルを会員・会員外に対して販売促進
- (3) 訪問介護マニュアルの改訂。
別冊老計10号、サービス提供責任者用マニュアルの作成。

6 表彰事業の実施

7 共同募金運動への参加協力

8 大規模災害の教訓を活かした災害時対応と広域支援体制の検討

2 調査・研究事業

- (1) 福祉制度を理解するための
研修会の開催
- (2) 利用者の自立支援を目指
したサービス提供のための
調査研究
- (3) ホームヘルプ活動に関する
資料・情報の収集と研究

3 研修事業

- (1) 市町村委員研修会 令和元年5月20日
- (2) スキルアップ研修会 令和元年8月8日
- (3) 現任研修会 令和元年11月
- (4) サービス提供責任者研修会
（兼東海ブロック研修会）令和元年2月
- (5) 県内ブロック別研修会
令和元年6月～令和2年

5 会議等への参加と関係機関・団体との連携強化

- (1) 全国ホームヘルパー協議会関連会議等への代表者並びに参加者派遣
・ 全国ホームヘルパー協議会協議員セミナー
令和元年5月15日〈東京都〉
・ 全国ホームヘルパー協議会協議員総会
令和元年5月16日〈東京都〉
・ 全国ホームヘルパー協議会常任協議委員会（年4回）
・ 全国ホームヘルパー協議会正副会長会議（年1回）
- (2) 愛知県社会福祉協議会等関係機関・団体との連携
- (3) 愛知県介護福祉士会等各専門職団体との連携

平成30年度

事業報告

***** 事業実施状況 *****

第1 会の運営と組織強化

本会の組織強化とホームヘルパー全員参加の推進に向け、次の会議を開催し会務を運営した。

①役員会等の開催 5回

4月 18 日（水）（正副会長会議）・5月 17 日（木）（第 1 回役員会）・7月9日（月）（第2回役員会）・
11 月 14 日（木）（第3回役員会）・平成 31 年3月 13 日（水）（第4回役員会）

②委員総会の開催 1回

平成 30 年5月 17 日（木） 愛知県社会福祉会館 参加者 46 名

・ 平成 29 年度愛知県ホームヘルパー連絡協議会事業報告

・ 平成 29 年度愛知県ホームヘルパー連絡協議会収支決算

・ 平成 30 年度愛知県ホームヘルパー連絡協議会事業計画

・ 平成 30 年度愛知県ホームヘルパー連絡協議会収支予算

③専門委員会の開催 4回

役員会の開催時に併せ、研修・調査広報の専門委員会を開催し、研究協議を行った。

④監事会の開催 1 回

平成 30 年4月 18 日（水）

⑤組織強化活動

●会員 195 名（54 事業所）

なお、会員外に対しても研修等への参加促進を図った。

●県内ブロック別等研修会を開催し、県内各地区の交流促進とスキルアップを図った。

第2 調査研究事業の実施

平成 27年度の介護保険制度改正の内容を含めた「2016 年改訂版訪問介護マニュアル」を発
行し、会員をはじめ全国ホームヘルパー協議会の会員事業所等に販売した。

・販売部数 280 部（会員価格 400 円、一般 価格 500 円）

平成31年度

事業計画

●重点事業

- ①ホームヘルパーの専門職集団としての組織強化を一層図り、会への参加促進を図る。
- ②高齢者・障害者等の利用者一人ひとりの状況を把握し、利用者が住み慣れた地域で暮し続
けることができるように「生活を支援する専門職」としてのホームヘルパーの資質向上を
図る。
- ③利用者の自立支援・重度化防止について考えるとともに、より質の高いサービスを提供で
きるように、地域における関連機関との連携に努める。
- ④大規模災害の教訓を活かし、「ホームヘルパー」として災害時対応を想定して、日ごろの地
域との連携強化に努めていく。

令和元年度

愛知県ホームヘルパー連絡協議会

総
会
報
告

スキルアップ研修会

平成31年3月13日開催

①「こころの病とは～うつ病と統合失調症を中心に～」

社会福祉法人やまなみ会 やすらぎの家 統括施設長 村澤 三千代氏

うつ病とは

- ▶ うつ病は気分の落ち込んだ状態（うつ状態）が続く
- ▶ 症状としては、抑うつ気分、意欲低下、頭が働かない（仕事が進まないなど）、身体症状（頭が重い、寝れない、疲れやすいなど）、興味・喜びの喪失感が現れる。
- ▶ うつ病の抑うつ気分は「あまりに苦しく」「社会生活や日常生活に支障をきたす」



治療にあたって理解しておくこと

- ▶ 「うつ病は治療の必要な脳の病気」である。
- ▶ 「自分は病気ではない」「考え方をかえれば何とかなるはずだ」と思い込もうとすることは治療の大きな妨げとなる。
- ▶ 周囲からは「病気だと思うから病気になってしまうのだ」「薬なんか飲むと本当に病気になってしまうよ」→これは「うつ病は気の持ちようだ」といった誤った認識から発せられる言葉
- ▶ 治療が必要な状態なのか、それほどでもないかは、専門医でないと判断できない。
- ▶ 治療中は「よくなったり、悪くなったり」繰り返すものであるため、ゆったりした気持ちで構える。

統合失調症とは

症状

症状は大きく分けて陽性症状と陰性症状があります。

この病気特有の症状で、発病後まもない急性期や再発時にみられる症状

幻聴、幻覚
（実際にはないものが見えたり、聞こえたりする）被害妄想
（悪口を言われている、見送られているなど、実際にはありえないことを信じる）思考の混乱
（ものをとる正確に判断・理解できない、支離滅裂な会話）感情の不安定さ
（強い喜怒哀楽、興奮、強制的・暴動的行動）病識がない
（自分が病気だと思わない）睡眠障害
（寝、醒れない）

消耗期、回復期に長期にみられる陰性の症状

感情の低下
（周囲に対して無関心、表情や声の感情表現が乏しくなる）意欲低下
（注意力、集中力が続かない、身だしなみに無関心になる）思考と会話の貧困
（コミュニケーション能力の欠損、社会的引きこもり）

運動性障害

- ▶ 脳の神経伝達物質が異常をきたすことによって起こる「脳の病気」である。
- ▶ 100人に1人の割合で発症する。
- ▶ さまざまな原因が絡み合って発症する。
- ▶ 陽性症状といって、幻聴・妄想などの異常体験を引き起こすことがある。
- ▶ 陰性症状といって、意欲や活動性が低下して、健康な喜怒哀楽を感じられなくなることもある。

②「困りごとをシェアしてみよう
～インシデント・プロセス法を活用しながら～」

社会福祉法人新城福祉会 業務執行理事・レインボーはうす所長 長坂 宏氏



インシデント・プロセスの手順

- 1 事例提供者は誰のことか（簡単に年齢、性別、介護度、支援度、障害など）を伝える。
- 2 事例提供者は困ることは何か、またどうなると良いかを伝える。
- 3 事例提供者は具体的に困ったことのエピソードを1つ選んで伝える。
- 4 参加者は自分なりの対応策を考える。
 - ①印象：エピソードに対する印象を書き出す。
 - ②対応策：直感的に頭に浮かんだ対応策が有効かどうかをチェックする質問を繰り返し、情報を集め、「自分なら〇〇〇〇してみる」という具体的な対応策を書き出す。
 - ③対応策の理由：なぜそうするのかを書き出す。
- 5 参加者は対応策等を発表する。



インシデント・プロセスのグラドルール

- ①グループワークを安心できる安全な場所にする。その為には、決して人の意見を否定（非難・追求）しない。自分のやり方を押し付けたり、アドバイスすることはしない。
- ②上記①の環境の中で参加者は他の参加者の質問と事例提供者の答えに集中する。その際に大切なのは、エピソードを振り返り、エピソードの事実に関する質問をやり取りを行うこと。
- ③対応策に正解はない。大切なのは対応策の効果が有るか、無いか。効果が有るとすればどの程度有効なのかである。

令和元年度 市町村委員等研修会

令和元年5月20日開催

「愛知県内の詐欺被害の現状と対策について」

『愛知県内の詐欺被害の現状と対策について』

愛知県警察本部 生活安全部 生活安全総務課 安達 信生 氏



愛知県警が作成している

【平成31年・愛知県版】～STOP！特殊詐欺～被害防止マニュアル
「特殊詐欺は、こんな犯罪です」に基づき講義がありました。

特殊詐欺の認知状況

特殊詐欺とは、電話やメール、ハガキなどを用いて、対面することなく被害者をダマして、指定した口座へ振り込ませるなどして現金やキャッシュカードを騙し取る犯罪で、現状で言うと振り込め詐欺が全体の約99%を占め、オレオレ詐欺や架空請求詐欺、還付金等詐欺などが愛知県内で多く発生する手口となっています。

認知状況は平成30年中は認知件数603件（前年比-45件）、被害総額約12億6798万円（前年比+5167万円）。認知件数は減少したものの、被害額が増加しています。また被害者は60歳以上が圧倒的に多く、女性の割合が7割以上を占めています。

被害に遭わないために

被害防止対策として、平成30年中は家族や親族のほか、金融機関、コンビニエンスストアでの声掛けにより、489件3億3334万円の被害を未然に防ぐことができました。

また、日ごろから各自でできる対策として以下のようなアドバイスがありました。

- 家族や近所同士で日頃からコミュニケーションをとる
- 電話番号表示サービスに加入する
- 自宅の電話機を“被害対策防止機能付き電話機”に買い替える
- 電話機に“被害防止機器”を取り付ける
- 犯人と会話しないため、常時留守番電話設定にしておく
- ATMを利用した振り込みの限度額を引き下げておく
- 犯人にターゲットにされないために、電話帳の掲載をやめる
- 携帯電話やスマートフォンを迷惑メールに設定したり、迷惑メール防止機能のあるメールアプリなどを利用する



その他の対策

その他、民間業者に委託して、振り込め詐欺被害防止センターを開設。オペレーターから家庭に電話し、「振り込め詐欺の具体的な手口」や「対策」について説明をし、平成30年の7月にはオペレーターの広報により被害を阻止したことや、「～STOP！特殊詐欺～〇(まる)っとあいち・絆プロジェクト」と題したホームページを作成し、警察本部から特殊詐欺の最新の情勢やダマしのストーリーについて定期的にメールで情報提供したり、被害に遭わないため、いつでも、どこでも、短時間でできる防犯訓練への参加を呼び掛けるなど、多方面から被害防止対策が行われています。

ヘルパーの7つ道具

—— Q. みなさんの仕事に欠かせない道具をおしえてください



豊山町社会福祉協議会
ヘルパーステーションしいの木

- 1 ハサミ
- 2 ペン型懐中電灯…隙間に落ちたものを探したり、ヒューズが飛んだ時の回復作業時に使う。
- 3 油性マジック…デイサービス等に出かけるための肌着等に名入れしたり、利用者にメモや予定を書き置きするときに使う。
- 4 セロテープ・クリップ…一包化された菓をカレンダーに貼ったり、袋の封を閉じる必要があるときに使う。
- 5 3色ボールペン…家族に特に報告したい記載をカラー文字にしたり文章全体をかこったりするのに使う。
- 6 付箋 (大小)・メモ用紙…家族への伝言や、事務所への報告などに使う。
- 7 スーパーの袋・ビニール袋・ジッパー付きの袋
- 8 うちわ…夏季限定。利用者の汗対策 (デイの迎えを待っている間や、おむつ交換時の背中へのベタ付き解消に)
- 9 レジャーシートと洗濯バサミ…雨限定。車椅子で外出の際 (デイ送出し等)、車椅子全体を覆う。
- 10 替え靴下
- 11 使い捨てヘアキャップ…失禁や汚物のひどい場所での作業時、靴下カバーとして使う。
(足全体を入れてつま先あたりを結ぶ)
- 12 使い捨て手袋
- 13 携帯型消毒液



豊橋市社会福祉協議会
ホームヘルパー中部

- 1 付箋
- 2 マジック・マーカー
- 3 印鑑付きボールペン
- 4 携帯スリッパ
- 5 使い捨て手袋
- 6 手指の消毒スプレー
- 7 替えの靴下
- 8 マスク



東浦町社会福祉協議会
指定訪問介護事業所

- 1 ゴム手袋
- 2 スリッパ
- 3 筆記用具 (ハサミ、印鑑、セロテープなどを含む)
- 4 タオル
- 5 マスク
- 6 消毒液及び手洗い用の石鹸
- 7 絆創膏



扶桑町社会福祉協議会
指定訪問介護事業所

- 1 文房具 (朱肉、のり、セロテープなどを含む)
- 2 防災加工タオル
- 3 使い捨てヘアキャップ
- 4 絆創膏
- 5 マスク
- 6 水筒
- 7 懐中電灯
- 8 手指消毒スプレー (ミニボトル詰め替え)
- 9 ヘルパー用腕カバー
- 10 帽子
- 11 付箋
- 12 マジックペン



扶桑町社会福祉協議会
指定訪問介護事業所

- 1 付箋
- 2 マジック・マーカー
- 3 印鑑付きボールペン
- 4 携帯スリッパ
- 5 使い捨て手袋
- 6 手指の消毒スプレー
- 7 替えの靴下
- 8 マスク



年長ヘルパーの活躍ぶり

年長ヘルパーさんに
聞きました！

- ① 活動の時間や状況は？
- ② どんな思いで仕事している？
- ③ 大変と思うことは？また、乗り切る工夫は？
- ④ 得意なことは？



★ ヘルパー歴 20年 63歳 女性

- ① 育児は卒業し、時間に余裕があるので、土日祝日早朝夕方など若いヘルパーさんが働けない時間帯に活動しています。身体介護、生活援助、障害福祉などどんなケースも対応しています。
- ② 人の役に立てる喜びを感じながら、仕事をさせていただいています。
- ③ 新規の利用者さんの時はいろいろ覚えられないといけないので、記憶力との闘いです。しっかりメモを取りわからないことは事業所や利用者さんにその都度尋ねるようにしています。
- ④ 相手から笑顔を引き出すこと。

★ ヘルパー歴 13年 64歳 女性

- ① 孫守の為、時間を制限されながらも自分の空いている時間は活動しています。腰への負担を気を付けながら身体介護、生活援助、障害福祉などのケースに対応しています。
- ② 体力が続く限り続けたいと思っています。若いときに比べ体力は落ちているとひしひしと感じています。
- ③ 訪問件数が何件も続くと、体も気力もひいひい言いますが、利用者の笑顔で何とか乗り切っています。まだまだ現役でいたいので、自分の体と相談しながら細く長くこの仕事を続けていくつもりです。
- ④ 傾聴すること。相手の気持ちを受け止めながら上手に聞き流す。

★ ヘルパー歴 7年 66歳 女性

- ① 1週間に2日休みの日と決めてあとはいつでも時間的には活動できる環境ですが、無理をすると、すぐ体調が低下してしまうので、1日1～2件、土日など人手不足の時は5件くらい活動しています。
- ② 仕事をする事で社会とつながっている充実感が得られ、自分の閉じこもり防止と思っています。
- ③ 利用者さんのわがままや語気が強い時の対応に、心が折れそうになります。助かったよと言ってくれる利用者の言葉に、こんな自分でも人様の役に立てていると感じることができ、もう少し続けようと思ひなおします。
- ④ いつまでもくよくよせず、一晩寝ると、気持ちの切り替えができる。

事務局からのお知らせ

2019年改訂版訪問介護マニュアル販売について



事業所での研修や介護技術の基礎確認、介護事故の予防などにもお役立てください。ご希望の方は、「申込書」にご記入のうえ、FAXにてご注文ください。



便利な
(老計10号)
付き

■愛知県ホームヘルパー連絡協議会会員事業所様は、1冊定価800円のところ会員価格700円にて販売します。(1冊から販売しています。)

■納品と同時に請求書を同封いたしますので、後日お振込みください。

会長感謝
顕彰者一覧

・酒井 洋子(豊田市)
・川上 広美(豊田市)
・福岡千代子(豊田市)

・江端由喜枝(知多市)
・石津 利嘉(北名古屋市)
・波多野吉美(一宮市)

・川村 周子(一宮市)



新役員の紹介

南知多町社会福祉協議会

川本 陸氏

かつては、何でも気を利かせてやってくれるヘルパーが良かった。ヘルパーでした。

最近では自立支援の考え方が当たり前になってきてはいますが、まだまだ利用者、家族、ケアマネ、医師、保険者、サービス事業所等の共通認識ができていないように感じています。

本当の意味で利用者の為の支援ができるよう、また関わる人が共通の目標に向かって支援ができるよう学び、知識を深め、専門職として自信を持つことができると良いと思っています。



蟹江町社会福祉協議会

岩下 祐太郎氏

今回海部ブロックの常任委員を務めさせて頂く事になりました。ヘルパーの経験は2年目です。日々勉強中です。いろいろとご迷惑をおかけするかも

しれませんが、協議会の方々・他地区の訪問介護事業所の方々と情報交換などを行い、自分自身の成長につながれたら良いなと思っています。

この頂いた機会を無駄にせず、大切に日々努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



愛知県ホームヘルパー連絡協議会 機関紙

つとい 第88号

住所 名古屋市東区白壁一丁目50番地 愛知県社会福祉会館内

TEL (052)212-5502 FAX (052)212-5503

発行 2019年 9月

編集・発行 愛知県ホームヘルパー連絡協議会 広報委員会



この機関紙は愛知県共同募金配分金で作られています。